

起因物、事故の型：はしご等 - 転倒の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	業種小コード	労働者規模
1	11~12	シラス船整備のため船上架場（ドック）に船を上架した。船を洗浄する際カッパを着用しており、足元も不安定なため脚立から降りる際に足を滑らせ転倒し、右腹部・右手首・右胸を受傷した。	51	70201	10~29
1	16~17	本社工場1階作業場で、立型マシニング作業中に製品に付帯している工程管理作業書を取りに行こうとして、立型マシニングの横を通った際に、機械横に置いている昇降用踏み台につまずき、転倒し負傷した。	64	11301	50~99
1	10~11	自社2階にある更衣室の清掃をしている時、天井に設置してある扇風機をパイプイスに上がり掃除していた。掃除を終え、イスから降り床にあるスリッパを履こうとしたときに足を滑らせてしまい、左手首をついて転倒し、左手首を骨折した。	61	10102	50~99
1	8~9	コンベアの向こう側のクリーンボックス（プラスチック製漁函）を整理しようとして、コンベアをまたぐときにクリーンボックスを重ねて階段を自作し、それを登ったところ、足を滑らせてコンベアで胸と左足を打った。	69	80109	100~299
2	17~18	葬儀社にて、地区の会長さんが来館したため、担当者のシフトを確認しようとして、事務所の壁の上の方に貼ってあったため、よく見えず、キャスター付のイスに上がってみようと、足をかけた際、イスが動いてしまい、足を踏み外し転倒した。右肩と右胸部を強打した。	64	170209	100~299
2	13~14	3階冷蔵庫で上段の商品を踏み台にのぼって取ろうとした際、足を踏み外し転落した。左胸を強打した。	45	80201	50~99

3	17~18	工場内で仕上げ作業中に、200mm角の机木に上がり、高さ1200mm付近の製品の仕上げ作業を行っていたところ、机木が反転し転倒し、右足首に重心がかかり骨折した。	50	11209	~ 99
3	14~15	利用者に配膳をしようとした際、椅子に左足をかけてしまい転倒した。	49	130201	~ 99
3	15~16	屋根軒先の寸先を脚立に乗って測る際に、寸法採りに気を取られ足を滑らし脚立から転倒し、左肘から落下した。	43	30209	1~ 9
3	10~11	講堂の舞台袖での電気配線工事を行う際に、上から配管の設置をする為に、脚立に登ろうとした。しかし、脚立を上る際に一段目に足がしっかり乗っていなかった為、踏み外して転倒した。その際に地面への足のつき方が不安定だった為、足を内側に捻って骨折した。	57	120109	~ 100 299
3	13~14	ライン工事現場にて、脚立（6尺）を使用する際の塗装作業中（配管）既設配管が左側にあるため、脚立の右側を昇降し、脚立を降りる際に下から1段目と2段目の間に足を踏み外し転倒し、右足を捻り負傷した。	19	30309	1~ 9
4	10~ 11	店舗調味料売場にて、棚にある商品を取る際に脚立を使用し下りる時に、下から3段目~2段目あたりを踏み外し転倒し、右半身を床に打ちつけた。	43	80209	50 ~ 99
4	15~ 16	患者のオムツ交換中、次の部屋に移動する際、部屋のカーテンの下に点滴を合わせる為の踏み台に躓き、左膝を強打してしまった。	53	130101	~ 100 299
4	10~ 11	3階共有通路で、脚立に乗って天井吊り下げ看板のランプ交換作業をしていた際に、看板を持ったまま脚立を降りた時に最下段で足を踏み外し、後ろ向きに転倒し、持っていた看板が右足の甲に落ちて骨折した。	31	150101	~ 30 49
4	14~ 15	工場内にて機械部品の取り外しをする際、脚立を踏み外して転んでしまった。	51	10104	~ 30 49

4	14～ 15	被災者が5段脚立に上り、倉庫の棚上に積んでいたオムツの箱を下ろそうとしていたところ、バランスを崩して脚立ごと転倒し、着地の際に左足の甲を負傷した。	43	80209	100 ～ 299
4	11～ 12	工場内においてクッキー生地の仕込み作業を行っていたとき、生地の状態を確認するため、踏み台（縦56cm×横41cm×高さ41cm）に上りミキサーのふたを開けようとした際、踏み台の天板が濡れていたため右足が滑って身体全体のバランスが崩れ、踏み台の角に勢いよく左足の脛を打ちつけた。	21	10104	50 ～ 99
4	8～9	交流センターで清掃中、ロッカー上部にハタキをかけるため、イスの上でつま先立ちになり、イスが傾き転倒した。	63	170209	1～ 9
4	23～ 24	バス専用乗降踏み台で慌てて降りた為、踏み台を誤って踏みはずし、右手で体をささえたため骨折した。	52	40202	10 ～ 29
4	8～9	バックルームにて天板商品を取る際に、長脚立の上から2段目に足を掛けたところバランスを崩して左肩から落下し、左側鎖骨と肩甲骨が亜脱臼した。	26	80209	1～ 9
5	16～ 17	荷物の積み込み作業中、トラック荷台から降りる際、脚立に足を着いたら脚立が引っくり返り転倒し、左手をついたため負傷した。	45	40301	10 ～ 29
5	15～ 16	障害者の共同生活援助事業所（グループホーム）において、利用者の洗濯物を片付ける為に、ベッド（床1.35m位）へ上がり作業を行う。その後、ベッドから降りようとした際にバランスを崩してしまい、右足から着地したが挫いてしまった。患部が強く痛み、腫れも出てきて、右第五中足骨骨折及び右足関節捻挫となった。	42	130201	1～ 9
5	9～ 10	車両の清掃を行うため、車両に移動禁止表示旗を掲出し、乗務員室出入扉から乗車しようとした時に昇降台から左足を踏み外し、体の左側面を下に左腕を伸ばした形で転倒した。その後、左肩の痛みと左腕に力が入らなくなり、左上腕骨近位端骨折と診断された。	58	150109	50 ～ 99

5	15～ 16	当社工場内にて、棚に置いてある製品の確認作業中、棚の柱を左手で持って身体を支え、5～6cmの踏み台にのぼって棚の上部を覗き込んで確認していた。棚の柱を持ち直そうとしたところ、バランスを崩して後ろに尻もちをつくように倒れ、左肘とお尻を強打した。	52	11209	30 ～ 49
5	1～2	カラオケ店の厨房で、壁面を清掃するため踏み台に上り、ダスターで拭いていたところ、台から下りる際にバランスを崩し、背後の台の上に左手を強くついて左手に全体重がかかり、手首の骨にひびが入った。	62	140309	100 ～ 299
6	14～ 15	台の上に乗し、壁を清掃していた。作業を終え、降りる時に足を滑らせ左足をぶつけた。台の上には、ブルーシートが敷かれていた。	61	10909	1～ 9
6	14～ 15	個人宅塗装工事において塗装工事中、左手に塗料、右手に脚立を持ち移動中、その脚立に足をからませ転倒し、その際に左手を地面に強打し、骨折した。	56	30209	1～ 9
6	15～ 16	ガソリンスタンドのピット（作業場）内で車両整備中に、脚立に足を掛けて登ろうとした際に、ピット段差部の隙間に脚立の脚が挟まり、バランスを崩し転倒した。その際に、付近に設置されていた廃油受けに左肩を強打した。	38	80204	10 ～ 29
6	9～ 10	マンション1F電気室入口の前において、三尺脚立の2段目にて電気室入口周りの外壁の塗装中、振り返る際に足を踏み外し転倒した。その際、ローラーを右手に持っていたため、受け身をとれず左手にて落下した。土間コンクリートに手の平からついた際、腕を捻りながら転倒した。	33	30209	1～ 9
6	16～ 17	被災者が脚立に登って作業後、床に下りる際、着地した足で方向転換しようとした為、足を滑らせて転倒した。その際、右手を床について右手首を骨折した。	55	80209	50 ～ 99
6	11～ 12	倉庫で現場に行く準備をしている時、脚立に乗って棚から上の物を下ろそうとして、バランスを崩して転倒し、下に置いてあった一斗缶の角にぶつけて、肋骨が折れた。	44	30209	1～ 9
6	3～4	店舗入口窓清掃のため、脚立にのる途中で転倒した。	47	150109	1～

					9
6	13~ 14	高さ50cm踏み台を使用して商品を陳列している際に、バランスを崩し転倒した。受け身を取る際に、左膝を床に強打した。動く事が出来ず、救急車を呼び病院へ搬送された。診断の結果、左脛骨高原骨折であった。昇り降りをくり返して、バランスを崩したとのことである。	52	170101	300 ~ 499
6	13~ 14	ホームセンター店舗内で商品棚最上段に商品陳列を行っていた。使用していた踏み台は、2段・高さ50cm程度のもので、踏み台から降りる際に体のバランスを崩し、そのまま転倒した。その際、左膝を床に強打し、救急車にて病院へ搬送された。	52	80201	30 ~ 49
7	11~12	作業中、脚立の上に乗り機械の横に有る、円筒形のタンクの周りのカバーを外している時に脚立ごと倒れて、右手をついたため、右手首あたりから曲がり激痛がはしった。	53	170101	10 ~ 29
7	11~12	コロッケのパン粉をつける作業中に成型機にコロッケの具を投入するため、成型機の横に置いてあった踏み台につまずき、前向きに転倒して両膝とオデコと右手を負傷した。	70	10109	100 ~ 299
7	1~2	店舗1階食品売場5番通路にて、加工食品の品出し中什器最上部への品出しのために脚立を使用し降りる際に足を滑らせ転倒し、着地時に左手をつき受傷した。	39	80201	—
7	11~12	整備工場内でミキサー車ドラム内のコンクリートの研り作業中に、点検口（直径43cm）からドラム外へ出て下りる際に、高さ35cmの木製の踏み台へ右足を乗せたところバランスを崩して転倒した。転倒時に右手を地面につき骨折した。	36	150102	30 ~ 49
7	15~ 16	弊社整備工場でショベルローダー（2w100-58）の点検・車体清掃後フロントフェンダーからタイヤに移動し、タイヤから作業台へと乗り移る時、バランスを崩し転倒し、左手を作業台につき肩を痛めた。当日は緊張もあり痛みを感じなかったが、夜から痛みが発生した。	60	80109	10 ~ 29
		プレス工場において棚卸作業の最中、製品の入ったプラスチックコンテナ			30

7	9～ 10	を両手で持ち、後ろ向きに数歩下がったところ、プレス機に立て掛けてあった脚立に左足がぶつかり、バランスを崩してそのまま仰向けに倒れ、左手を甲の部分から床に打ちつけ負傷した。	64	11203	～ 49
7	20～ 21	荷主先資材倉庫において、トレーラーを利用し、トラック運送資材を資材ヤードに返却する作業を行っていた。収納を終え、脚立（高さ1m）を使用し、資材ヤードより降りようとした際にバランスを崩し、アスファルト面に転落した。その際、右側頭部を強く打ち、軽い脳震盪を起したが、その場では目立った外傷もなかったため通常に業務を終了し、様子を見ていたところ、後日に頭痛・吐き気・めまい等の症状が出たため受診し、外傷性脳内出血と診断された。	47	40301	10 ～ 29
7	14～ 15	工場内にて、濃縮機下部部分（3900W×1880H×830D）を作業用踏み台（600W×900H×830D）に乗り、塗装し終えて作業用踏み台から降りようと3段目中2段目から誤って足を踏み外し転倒し、後頭部を打撲した。	35	11209	10 ～ 29
7	11～ 12	惣菜バックヤードで、二段脚立に上り、食洗機奥の壁面の拭き掃除を行っているとき、脚立が滑り転倒し、脇腹を強打した。床が油で滑りやすくなっており、脚立に滑り止めが無かったことにより災害が発生した。	63	80201	50 ～ 99
9	11～ 12	畳床の製造作業中、機械の台からおりる時に（段差の高さが30cmくらい）、足をすべらせてあお向けに転倒した。転倒した時に右手を下についてけがをした。	68	11709	10 ～ 29
9	0～1	作業終了時の清掃作業で、本仕込みミキサー清掃の為、脚立に登ったところ、脚立の位置が悪かった為、脚立に登ったまま位置を移動させようとして、脚立ごと転倒し、左脇腹を打撲し受傷した。	49	10104	100 ～ 299
9	0～1	作業終了時の清掃作業で、本仕込みミキサー清掃の為、脚立に登ったところ、脚立の位置が悪かったため、脚立に登ったまま位置を移動させようとして、脚立ごと転倒し、左脇腹を打撲し受傷した。	49	170209	30 ～ 49
9	18～ 19	庫内を歩いて移動中に、側面に設置してあった脚立に足を引っかけて転倒。右肩を負傷したものである。	51	50101	500 ～ 999

9	15～ 16	被災者は、コンクリートの補修作業を行っていた。午後の休憩を取り、その後片付け作業を始めた。1段目のセグメント上に置いてあった脚立(A)を片付ける為、脚立(B)を使ってセグメントの上に昇った。セグメント上に置いてあった脚立(A)を下ろし降りる際に脚立(A)を使用し下りた。脚立(A)が斜めになっていたことに気付かず、足をかけた際に転倒した。転倒した際に右掌から着地した為、その反動で右肘を骨折、脱臼の怪我を負った。当時、片付け作業を行っていた為、転倒時の目撃者は居なかった。他作業者が片付けた荷物を持って戻ってきた所、うずくまっている被災者を発見、救急車を要請した。	35	170101	300 ～ 499
9	16～ 17	お宮の本殿にお宮の脚立を使用して提灯を吊り上げ中、バランスを崩して脚立ごと転倒落下し負傷した。	65	30203	1～ 9
9	13～ 14	事務所から裏の商品を置いている所に向かう通路において、お客様の返品の商品(左手に袋、右手に商品)を棚に持って行く途中、いつもより斜めに置かれていた脚立にいつもより前にせり出して置かれていたゴミポリバケツの間を通る時に、脚立の土台に足をひっかけてしまい転倒し右肩、右胸、右ひじ、左ひざを打撲、左手親指、つまなどを負傷した。	59	80409	10 ～ 29
9	14～ 15	タオル作業場で、タオル作業場乾燥機のフィルタ清掃時、仕上げ場へ戻ろうと、外履きから内履きへ履き替えたところ、床に履物が何足も置いてあり、不安定な環境だった、室内と洗い場をつなぐ踏み台の側面につまずき、前方に転倒し、思わず左ひじをついた。	60	130201	10 ～ 29
10	12～ 13	業務を終え退社しようとして従業員通用口から外に出る際、足元の段差を踏み外し転倒。右膝と左第五趾を負傷したもの。	64	80209	50 ～ 99
10	13～ 14	店舗内で高い所にある品物を取ろうとしたところ、ふらつきキャスター付のイスごと転倒し、右手首を骨折した。	61	80209	1～ 9
11	12～ 13	厨房内にて仕込中、脚立に足を引っ掛け転倒し、その際に棚の角に頭部右側をぶつけ受傷した。	55	140201	10 ～

					29
11	13～ 14	ご利用者様宅の窓の出入口にある踏み台で、片付けのため浴槽を持って出入口から降りようとした時に、浴槽を持っていたため下が見えない状態だったため転倒し、わずかな傷口と内出血が出来た、その傷口からばい菌が入り感染症を引き起こした。	41	130201	30 ～ 49
11	17～ 18	事務所内の片付け中、支局西側の外付階段の蛍光灯を換えるため脚立を使用している作業中、バランスを崩して転倒した。階段から落ち頭部を強打した。本人は支局2階に居住している。頭痛と微熱が続き、後日119番し、病院に搬送された。	52	80409	1～ 9
11	22～ 23	受注した製品（家具）の上部を4尺脚立の3段目に乗り吹き付け塗装をしていたが、終わって下に降りようとした時左手で脚立を持ち、身体を支えていたが不十分であったようで足を滑らせ脚立ごと後方に倒れ転倒して左肩付近を打撲した。左肩付近に痛みがあったが、我慢していたが翌日咳をした時痛みがあった為、労災指定の保健医療機関の整形外科クリニックへ行き診察、治療等の行為を受けた。肋骨骨折だと判明した。	42	30309	1～ 9
11	13～ 14	店内で、脚立を使って、棚の上の在庫商品を降ろす際に、6段脚立の3段目まで上がり、右方向に両手を伸ばし、商品を取ろうとした時、バランスを崩して、脚立ごと右側に倒れ、驚きと痛みで立ち上がれなくて、救急車で病院へ搬送してもらった。	45	80209	10 ～ 29
11	15～ 16	当社販売中の新築戸建物件内にて、業務中に負傷した。天井の照明を取り付けようと踏み台に乗ったところ、誤ってバランスを崩して踏み台が倒れ肘から落ち転倒し負傷したものである。	44	90209	1～ 9
11	15～ 16	展示会場でアートを取り付ける作業をしている時に、椅子を使用し、高さ180cmへの取り付けをした際に、椅子の片側に立った時に、誤って椅子から転倒し、床に手をついた際に椅子の脚に右手首が当たり骨折した。転倒後右手が腫れてきたので、救急車を呼んで、病院へ行った。	59	80109	30 ～ 49
		店頭の商品を移動中に、スノコに躓き前のめりに転倒した。その際、両手両膝をついて支えた。その後一時間程作業をしていたが、右肘の痛みが激			1～

11	8~9	しくなり、曲げる事も出来なくなった。病院でレントゲン・CT撮影の結果、右肘骨折、内部に血が溜まっていた。	62	80109	9
11	16~17	工場内で検品作業を行っている際、製品が入っているケースの傾きを変えるために、高さ30cm程度の踏み台の上に乗って、両手でハンドルを回す作業を行っていたところ、手が滑り、ハンドルを放してしまった。足場が不安定であったため、バランスを崩し、後ろ向きに転倒し、後ろに置いてあった鉄製の製品入れに背中を打ちつけた。	43	170101	500~999
11	16~17	工場内で検品作業を行っている際、製品が入っているケースの傾きを変えるために、高さ30cm程度の踏み台の上に乗って、両手でハンドルを回す作業を行っていたところ、手が滑り、ハンドルから手が離れた。踏み台から踵がはみ出ていたため、背後方向へ転倒し、尻もちをついて、背後にあった製品缶の角部で背中を打撲した。	43	11202	100~299
11	10~11	段に登り、物を取ろうとした時に、バランスを崩して、転倒した。	56	80209	10~29
11	10~11	造船所にて、艀装工事中、陸上より船上に部品を手を持って上がろうとしていた。タラップから踏み台に降りる際、足を踏み外して転倒し左足首をくじいた。	20	11301	30~49
12	9~10	当社派遣先工場内において、1系焼却設備、反応助剤カートリッジ交換作業後、確認のため、床に敷いてあったブルーシートの上に二段脚立を置き、一段目に足をのせたところ、ブルーシートが滑り足をくじき受傷した。	26	170209	30~49
12	11~12	床に置いた袋からタオルを取り出し、踏み台代わりの介護用椅子に上り、3連結の棚にタオルを補充整理した後、踏み台から降りてタオルを取り出し、同様に補充する作業を繰り返し行っていた（通常10分程度の作業）。作業の後半に、タオルを棚に収納し椅子の座面から後ろ向きで左足を降ろし、床に着地しようとした際、まっすぐに足裏が床に着地しなかつ	63	130201	100~299

		たため、左足がねじれバランスを崩し、身体を支えようと右手をついたが、支えきれず右側に転倒した。（床面の部材はスベスベしているが、特に滑りやすい状態ではなかった。持病なし。）			
12	17~18	業務中、サービス工場内にて洗車作業中、脚立より降りる時にホースに足を取られ転倒してしまい、右手を強打してしまった。	45	80209	10 ~ 29
12	9~10	保温板金をしたものにコーキングをする為、脚立に登りかけた時に脚立の脚の1ヶ所が土の上であり、その場所が沈んだ（右前）。慌てて手前に力を入れたところ、脚立ごと後ろに倒れ、右ひじをコンクリート部にぶつけた。	53	30309	1~ 9
12	10~11	デイリー冷蔵庫の中でエアカーテンを取り付ける際、置き台にしていた牛乳トートが滑って落下し、その際に床に手をついた為、右手首を負傷した。	41	80209	50 ~ 99
12	11~12	当社工場内にて高所清掃中、バランスを崩し脚立中段より落下し、腰を打撲した。	78	11403	1~ 9
12	11~12	園内の拭き掃除のため、ままごと台の上に登って棚の上を拭いていたところ、台が倒れて一緒に倒れ、台に横腹と腰を打ちつけ負傷したものである。	32	130201	50 ~ 99
12	6~7	被災者は、工場の守衛所にて、常駐警備員として夜間および日祝祭日に勤務している隊員である。就労中、プレス工場作業員が退出したため、施錠確認を実施しようとして守衛所を出る際に、15cm程の高さの木製踏み台を使用したところ、踏み台が突然割れ、前のめりに倒れこんだ。その際に顔面右を強打し、左足を強く捻った。	70	170201	50 ~ 99
12	16~17	脚立に上って複合タンクを整備中、バランスを崩し転倒し、右踵を骨折したものである。	53	11204	10 ~ 29
		コンテナ荷卸し作業が終了し、被災者が貨物を格納する際、先に格納した			50

12	10~11	パレット積みの貨物が荷崩れしているのを見かけたため、脚立に上りネステナーへ移って荷崩れを直そうとしたが失敗し、足を踏み外して右脇腹を打ち転倒した。	42	80401	～ 99
12	14~15	事務所棟1階の用務員室にて、内部造作物撤去作業中、被災者が脚立から降りようとしたところ、誤って足を踏み外し、バランスを崩して2段目から転落し、脚立に足をからめて負傷した。	35	30201	10 ～ 29
12	14~15	ブロック上に設置していた移動式屋根（4.5t）を他のブロックへ移動するため移設作業中、ホイスト操作者と被災者（玉掛け補助）がホイストクレーン（4.8t）を使って、移動式屋根を吊り上げたとき、地上にいた被災者が何らかの理由でブロック昇降階段に上っており、巻き上げた際に階段が横転し、階段上の被災者も階段と共に転落し、頭部と腹部を受傷した。	46	11501	1～ 9
12	12~13	資材館にて天板商品の補充作業中、兼用脚立の側面ロックが外れていたため、足を乗せた際に脚立が倒れて転倒し、右足首を捻り負傷した。	46	80209	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html